T&Dアセットマネジメント
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第357号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

情報提供資料

TDAMフォワード・ルッキング・リサーチ

債券運用部　ストラテジスト兼ファンドマネージャー　浪岡　宏

2020年11月16日

～2021年のサプライズイベントを考える～

少し気が早いかもしれませんが、2020年ももう残すところあとわずかとなってきました。そこで今回は私が個人的に予想する2021年のサプライズイベントを示したいと思います。なお、本レポートで示すサプライズイベントは、蓋然性は低いものの発生した場合に大きな影響を及ぼすと思われるものが大部分ですが、蓋然性が相応に高いと思われる現実的なリスクシナリオも含めています。

さて、2020年は言うまでもなく新型コロナウイルスの感染拡大が、最大のサプライズイベントとなりました。こうしたことを背景に、2021年については、疾病に関するサプライズイベントを2つ盛り込んでいます。また、2020年に主要中央銀行が大規模な金融緩和を行ったことから、インフレが予想外に加速する可能性もあるとみて、「先進国でのインフレ加速と金利上昇」を加えました。

2021年1月には、米国でバイデン氏が大統領に就任する見込みですが、米中の覇権争いは続くと予想しており、米中の対立関係や台湾を巡る軍事的な緊張感について引き続き懸念しています。

2020年のサプライズイベント（円高要因）予想（2019年11月作成）

	サプライズイベント
1.	米中貿易問題の激化
2.	米国の景気後退入りと持ち直しへの厳しい道のり
3.	一部主要国でのクーデター
4.	中国と台湾の軍事衝突
5.	北欧や資源国での住宅バブルの崩壊
6.	債券バブルの崩壊
7.	原油価格の乱高下（特に下落側に警戒）✔
8.	大規模な自然災害（特に日本国内で発生）
9.	パンデミック（特に日本国内で発生）✔
10.	サイバーテロ

2021年のサプライズイベント（株価下落要因）予想（2020年11月作成）

	サプライズイベント
1.	米中対立の激化
2.	新型コロナウイルスのワクチン開発・普及に思わぬ障害が発生し、行動制限が長引く
3.	一部主要国でのクーデターや動乱
4.	中国と台湾の軍事衝突
5.	世界的な企業倒産の波
6.	先進国でのインフレ加速と金利上昇
7.	一部主要国での財政破綻
8.	大規模な自然災害
9.	新型コロナウイルス以外のウイルスによるパンデミック
10.	サイバーテロ

出所：T&Dアセットマネジメントが作成
注：✔（チェックマーク）は、資料作成時までに発生したサプライズイベントに付しているが、円高に至らなかった事例も含まれている。

【ご留意事項】本資料は、T&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したご参考資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。したがいまして、個別銘柄に言及した場合でも、関連する銘柄の当社ファンドへの組入れを約束するものでも、売買を推奨するものでもありません。本資料は、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中の数値・グラフ等の内容は、過去の状況であり、将来の市場環境等を示唆・保証するものではありません。本資料は作成時点での見解であり、今後予告なく変更する場合があります。ご投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断ください。